

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要した 経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に 係る整備、維 持補修又は維 持運営等措置	町立保育園運営事業	山北町	11,298,000	11,298,000	総事業費 13,781,540 (事業実施主体 (市町村)の総事 業費)

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	町立保育園運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		山北町	
交付金事業実施場所	山北町山北他1件		
交付金事業の概要	町立保育園に勤務する保育士6名に9月～2月分の給与を支給。		
総事業費	13,781,540	交付金充当額	11,298,000
		うち文部科学省分	0
		うち経済産業省分	11,298,000
交付金事業の成果目標	全国的に保育士の確保が難しくなっている中で、わかば、向原の2保育園（園児117名）の運営に要する保育士資格を持った正規職員を配置するにあたり、交付金の充当により必要な給与支給額が確保でき、全てのクラスへ正規職員の保育士を配置することができます。また、正規職員の保育士が確保できることで入園希望者全てを受け入れることが可能となり、待機児童ゼロで多くの居宅外で働くことを常態としている保護者や家庭において十分な保育をすることができない児童に対し、その保護者にかわり、充実した保育の実施と、安定した運営が図られます。		
交付金事業の成果指標	本交付金事業によって成果目標を達成するには、保育士の質の向上につながる処遇確保が必要となります。本交付金を活用し、保育士の処遇確保の取組を行うことで質の維持向上を図り、当該2保育所の保育士の定員確保に努め、平成28年度も同水準を維持することとします。また、この取組を広くPRし、充実した保育の実施と、安定した運営を図ります。（現状配置基準19名、職員数19名）		
交付金事業の成果及び評価	町立保育園（わかば、向原）で園児数123名の保育を行うにあたり、交付金を充当することにより必要な保育士数を維持するための給与支給額が確保でき、必要給与額を支給することが出来ました。その結果として、保育所における充実した保育サービスの提供と、安定した保育事業の運営が図られました。 交付金を充当することにより6名の保育士を雇用することができ、各年齢に正規職員を1名以上配置することが出来ました。その結果、年間を通じて同じ園児の担任として保育が可能になり、より細やかな保育が可能になるとともに保護者の安心を確保することが出来ました。		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
保育士の雇用	雇用	保育士 6 名	13, 781, 540
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
なし			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		平成33年度	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第 1 条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。
 - (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
 - (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。